

## 市場経済

市場経済は、三つの主要な経済体制の一つである。市場に参加するものが、誰も価格支配力を持たないとき、その市場は純粋競争市場あるいは完全競争市場であるという。

### I. 経済体制の分類

#### A. 二面からの分類

##### 1. 調整メカニズムの違い

a. 市場： 分権的意思決定と自由な交換

(1) 価格の働きによる需要と供給の調整

(2) 人々の好みと生産の可能性を示すシグナルとしての価格

b. 計画： 集権的意思決定と指令

c. 因習： 「しきたり」に従う経済活動

##### 2. 生産手段（生産者財）の所有に関する制度の違い

a. 私有制

b. 公有制

#### B. 調整メカニズムと所有制度のさまざまな組み合わせ

##### 1. 自然な組み合わせ

a. 市場と私有制： 資本主義市場経済（自由企業経済）

b. 計画（指令）と公有制： 社会主義計画（指令）経済

##### 2. その他の組み合わせ

a. 市場と公有制： 社会主義市場経済

b. 計画（指令）と私有制： 資本主義計画（指令）経済

### II. さまざまなタイプの市場

#### A. 純粋競争市場または完全競争市場： 誰も価格支配力を持たない市場

##### 1. 市場が純粋競争となるための条件

a. 集中度が低い

b. 製品差別化がない

c. 市場情報が全員に行きわたっている

d. 参入障壁がない

##### 2. 「純粋競争」と「自由競争」の違い

a. 純粋競争は実現し難い理想

(1) 純粋競争が社会にもたらす利益

(2) 法と規制の必要

b. 自由競争の害悪

(1) 独占化

(2) 闘争と市場秩序の破壊

B. 不完全競争市場

1. 独占市場 monopoly と買手独占市場 monopsony
2. 寡占市場
  - a. 個々の競争者の意思決定と競争相手の意思決定の依存関係
  - b. 共謀の可能性
3. 独占的競争市場
  - a. 多数の競争者
  - b. 製品差別化を通じた独占力

## 参考文献

教科書，第 1 章 .

Grossman, Gregory (1967) *Economic Systems*. Foundations of Modern Economics Series. Englewood Cliffs, New Jersey: Prentice-Hall. (大野吉輝訳『経済体制論』東京：東洋経済新報社，1969.)

Chamberlin, Edward H. (1933) *The Theory of Monopolistic Competition: A Re-orientation of the Theory of Value*. (青山秀夫訳『独占的競争の理論』東京：至誠堂，1966.)

Keynes, John M. (1926) “The End of Laissez-Faire.” In *Essays in Persuasion*. (『ケインズ全集』第 9 巻 . 東京：東洋経済新報社.)

Robinson, Joan V. (1933) *The Economics of Imperfect Competition*. 加藤泰男訳『不完全競争の経済学』東京：文雅堂書店，1956.)

Stigler, George J. (1968) “Competition.” In *International Encyclopedia of the Social Sciences*.